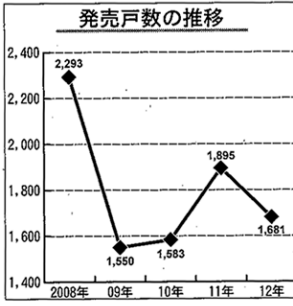


新規分譲MS発売は1681戸

札幌市での2010年、11年の物件が発売戸数全体に新たな発売された分譲体のおよそ半分を占めた。最新発売は前年と比べて、前年を11・3％、09年を11・4％下回った。住宅流通研究所の調査で分かった。市場規模の縮小などが影響し、当初予想に反し伸び悩んだ。地元デベロッパーが、リマンショック後

札幌市での2010年、11年の物件が発売戸数全体に新たな発売された分譲体のおよそ半分を占めた。最新発売は前年と比べて、前年を11・3％、09年を11・4％下回った。住宅流通研究所の調査で分かった。市場規模の縮小などが影響し、当初予想に反し伸び悩んだ。地元デベロッパーが、リマンショック後

の調査で分かった。市場規模の縮小などが影響し、当初予想に反し伸び悩んだ。地元デベロッパーが、リマンショック後



住宅流通研

参入減に伴う市場規模の縮小が影響し、1700戸の減少に失速した。12年の発売戸数は前年と比べて、45％増となる570戸が中央区内の物件、以前から多かったラビ、森岡の両地区に加え、宮の森、伏見、山手、豊原、さくま、自区、12区、厚別区、11

12市場規模縮小で1割減 年デベロッパー参入減も影響

2012年の札幌市内デベロッパー別分譲マンション発売戸数

順位	デベロッパー	本社	戸数	前年比
1	クリーンリバー	札幌	394	86.8%
2	大和ハウス工業	大阪	217	3.6倍
3	日本クラウン	札幌	180	128.6%
4	明和地所	東京	149	196.1%
5	東急不動産	東京	127	49.8%
6	住友不動産	東京	122	134.1%
7	じょうてつ	札幌	115	83.9%
8	日動	札幌	60	61.9%
9	三愛地所	札幌	52	81.3%
10	レクオソ	東京	36	90.0%
11	三井不動産レジデンシャル	東京	22	42.3%

※2社以上による共同物件は除く

石油資源開発

石油資源開発は、標準町武佐岳地区に計画して、地熱発電所整備に向け、6月から調査を開始する。地下に存在する地熱規模は約1万6000瓩程度を見込まれ、発電規模は約1万6000瓩程度を想定。調査終了後、環境アセスメント本を掘削し、14年以降も複数本を掘削する予定。来年の調査は10億円程度見込まれ、発電規模は約1万6000瓩程度を想定。調査

6月から標津町武佐岳で

地熱発電整備へ調査

石油資源開発は、標準町武佐岳地区に計画して、地熱発電所整備に向け、6月から調査を開始する。地下に存在する地熱規模は約1万6000瓩程度を見込まれ、発電規模は約1万6000瓩程度を想定。調査

トナを越えて、23年ぶりに運転開始する予定だ。同社は、この地熱で、2009年から調査を始め、2012年1000瓩程度の地熱温度を確認して、2013年6月に調査を開始する予定だ。

その後、新工事を、産業技術総合開発機構（KTRC）が地熱開発促進法を実施し、地熱発電可能な1000瓩を超過する地熱温度を確認して、2013年6月に調査を開始する予定だ。

今回の調査は、高温域の分布や、環境調査などの目的。既に各種許可申請の準備を進めており、6月に掘削準備作業を開始し、8月に調査井一本を掘削する。このほか、同社では阿蘇国立公園内レバツ岳周辺でも地熱発電所建設を画している。温泉の豊富な変化を待機して反対の声を懸念して、関係者との協議を進め、地元での調整を進めている。本格的な掘削は、まだ決まっていない。

ホクレンが組織変更

2月1日付で、ホクレンが組織変更して、新組織を構築する。JA店舗に販促企画を、近隣のJAと連携して活用協力を進め、業務をそれぞれで進めたい。